自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のミーティングのレジュメにプリントし、理念にこめられた意味をくり返し確認しあうことで実践につなげられるようにしている。			毎日の申し送り時に理念の暗唱を行い、より理念を定着させ意識して仕事に取り組むようにする。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在はコロナのため地域との交流は行えていないが、それまでは地域の清掃に参加したり、認知症による勉強会を開催していた。	・コロナ禍での取り組み苦労されていたと思っています。		現在は地域との接点が全くないが、敷地外に出られるようになったらご近所の方と顔を合わせたらこちらから挨拶する等地道な行動を継続できる様にしていきたい。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナのため紙面を通じてご利用者様の様子などの報告を行っている。写真を使うなど、普段の様子が伝わりやすいよう工夫している。	・面会ができない中で日々の状況をコメント付きの写真などで送付していることで取り組みの理解等をしていただいているので今後も継続していきたい。		写真つきのお便りは、コロナ過においても様子が伝わりやすく講評であるため引き続き継続して行きたい。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議議事録は管理者が直接役所へ手渡し接点を持つようにしている。	・特になし		運営推進会議の議事録を提出するだけでなく、口頭でも伝えることによりより身近な関係を築けるようにしていきたい。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護事業部の身体拘束の研修を受講し、伝達研修を実施している。不適切なケア・スピーチロックについても報告書を作成し、スタッフ間で情報共有を行っている。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	見守りをする為に人員が足りない時は、他ユニットと連携して対応するなど利用者の方の行動の自由を制限することのないよう努めていく。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	洛和会全体で虐待に関する研修があり、参加できない場合管理者宛にその研修の資料が配布され事業所で伝達研修を行っている。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修の内容を他人事ととらえず、自分たちの事業所でも放置すれば虐待に繋がりかねないケアがあることを繰り返し話し合い見直していく。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見人制度を活用している入居者あり。相談のあった方に対しては制度の概要説明を			権利擁護の制度について詳細に説明を出来なくても、パンフレットを見ながらその概要を誰でも伝えられるようにしていく。

				行い資料をお渡しするようにしている。介護事業部の人権の研修を受講・伝達し、知識を深めている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所契約時、改定時に説明を行っている。不明点などがあればいつでもお問い合わせいただくようお伝えし理解・納得頂けるよう応対している。			ご利用者の状態で GH での対応ができないケースはどのような時か、入院が長期化しても GH に戻って来られるのかなど得にご家族が気にされる事の多い内容をしっかり伝えられるようにしていく。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族アンケートや意見ボックスの設置等で意見を聞く機会を設けている。ご家族様アンケート結果を集計した結果、課題や改善策を外部、ご家族様にも報告し運営に反映している。		(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アンケートに答えることのメリット、意義を感じて頂ける様、いただいたアンケートの要望に対しレスポンスを早くする。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に個別面談をしており、必要時には適宜話しを聞いている。また、必要であれば統括や所長も面談を行っている。			事業所運営は管理者やリーダーだけでなく全員で行なっていく雰囲気を醸成し、誰もが事業所運営において欠かせない人材である事を伝えていく。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回の面談を設け目標・課題について話し合い確認。また、普段から職員のよいと感じた点を言葉にして伝えることで、各自が自発的に意欲を持って働ける職場環境の整備に努めている。		A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	役割の流動性を高め新たなことに取り組んでもらうことにより、各自のモチベーションの向上に加え一人しかできない業務をなくすことでより変化に強いチーム作りに繋げていく。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内のキャリアパス制度により各自が自分の力量を把握し、それをもとに自分に必要と思われる研修に参加できるようにしている。また、本人の希望で認知症介護実践研修など外部の研修にも参加してもらっている。		A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の状況においてオンラインや資料を通じ転移研修が主だが、コロナが収まれば各自が必要と感じていることを学べる機会を確保できる様にしていきたい。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サ	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.)あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症実践リーダー研修などを通じて知り合った方と研修終了後も連絡を取り合うなど交流を続け			コロナ過において感染予防を考慮し、直接会うなどの交流は行っていないが、コロナ禍が収まれば事業所・法人の枠を越えて交流できるよう努めていく。

		ービスの質を向上させていく取り組みをしている		ているが、現在はコロナ禍のため直接会うなどはしていない。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族との連絡を密に取り、日々の様子を伝えている。毎月の郵送物にも写真とひと言メッセージを添え身近に感じていただけるよう努めている。			「介護される人」である前に人生の先輩であることを認識し、常に敬意を持って関わらせていただく。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在コロナウイルスの影響でオンライン面会、外出は自粛中であり、希望に添えていないのが現状である。ご家族と電話で話していただくなど、可能な限りの支援を行っている。	・オンライン・電話だけでなく、ご本人と、短時間でも時間が共有できる窓越しの面会ができる様にコロナの状況を踏まえて継続できるよう努力していきたい。		コロナ禍のためオンラインでの面会のみ可能であるが、ご家族にはアプリの設定などに二の足を踏み面会を思いとどまる方もいる。設定のサポートを行うことでこのような状況でもご本人・ご家族の交流機会を確保していきたい。
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面接時にご自宅や受けているサービス先へ訪問しご本人の生活状況を見させて頂いている。家族から今までの生活歴などの情報を収集し、馴染みの暮らしに近づけるよう支援している。			ご家族との交流が制限されている現在、ご本人の「今」にクローズアップしわれわれ介護職が中心となってご本人の思いを汲み取っていくことに重点を置いて取り組んでいく。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画を作成するにあたって本人、家族、主治医・看護師と話し合い、その内容を文書化。介護記録・アセスメントとこの文書をもとに本人の生活の質向上のために必要な介護計画を作成している。	・事前に電話で様子を教えていただいた上で、家族の意向を聞いていただき、丁寧に作成・説明を継続していきたい。 ・専門職を含めて話し合うことは重要と考える。常に正しい介護の実践に努めていきたい。。	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方の重度化が進んでおり、専門職の知識がより重要になってきており、これまで以上に連携を図り利用者の生活の質の向上に資する介護計画作成に努める。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護日誌に個別に記録を行い、申し送りやカンファレンスの場で意見交換しケアプランへ反映、実践している。		A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	記録媒体が「ちょうじゅ」に変更されたがその機能を十分活かせていない。検索機能を使ってケアプランに反映させられるよう活用していきたい。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	往診や訪問看護、口腔ケアの他にも必要な方には訪問マッサージを実施している。	・特になし		ニーズを察知するのは対面で会う機会がほとんどないため難しいことではあるが、電話・お便りなど接点を持ち続けることにより相談しやすい雰囲気作りに努める。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため直接会うことはできないが1階の保育園の子供たちとお互いの様子を撮影したものを見せ合ったり、利用者の方が子供たちのために花を活け見てもらったりしている。	・利用者のできることに注目し、関わりを持つのはよいことだと思う。 ・公園体操など当センター（包括支援センター）とのコラボもぜひお願いします。		間接的とはいえ保育園の子供たちとの交流は楽しみが制限されている現状において貴重な機会であり、今後も継続して取り組んでいきたい。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族の意向を尊重し、適切な医療を受けられるよう支援している。月に 2 回往診があり、往診時以外にも必要な時に連絡が取れる体制になっている。			医療面のニーズは大きく、いつでも相談できる主治医の存在は大きい。今後も利用者の方が安心して生活出来るよう連携していく。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院先の地域連携機関に定期的に連絡し状態を確認・把握している。		A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のためお見舞いに行く事は難しいが、その分病院の相談員と密に連絡を取りスムーズに GH に戻ってこられるように努めていきたい。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時に看取り指針を説明、条件が整えば可能であることをお伝えしている。看取りの際にご家族の要望を受け往診専門の医師をご紹介するなど安心して最期を迎えられる態勢を整えられるようにしている。		A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまでもチームとして看取りを経験しているが、職員個々の経験にはさがあることから普段から看取りについて考え、備える場を設けるようにしていきたい。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全職員、救急救命講習を受け、事故発生に対応できるようにしている。			対応手順を定期的に復習し、万が一の時に全員が慌てることなく対応できるよう努めていく。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2ヵ月に 1 回消防訓練を実施している。	・計画的にできていると思う。	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	実際に火災や災害が起きたと想定し、机上だけでなく身体を動かす訓練を行なっていく。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要以上に認知症であることにとらわれることなく、人生の先輩である入居者の人格を尊重した丁寧な応対を心掛けている。		A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	言葉だけでなく表情・声のトーン・大きさや所作等あらゆる手段を使って私たちはあなたのことを大切に思っています、と利用者の方に伝わるかかわりに取り組んでいく。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	決まったタイムスケジュールは設けていない。入居者の希望や状態を最優先に考え、本人のペースを大切に支援している。			時間に余裕がない時こそ自分だったら、自分の家族で合ったらどのように過ごしたいかを考え、利用者本意の生活を大切にしていく。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在はコロナの影響で自粛中のため食事の準備等は行っていないが、食器の片付け、テーブル拭きなど出来ることお手伝いして頂いている。		A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染予防の観点から食事の準備は利用者の方に手伝っていただいていないが、コロナ禍終息したらまずはじめに再開したい取り組みである。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	少ない方に関しては水分チェック表を使用し、水分量が確保できるようにしている。食事量が少ない方は時間を変えたりお好きなものや食べやすいものを提供している。Dr.と連携し、栄養補助食品の導入も行っている。			口腔内・嚥下状態などをしっかりと把握し、専門職と連携を図ることでより美味しく安全に食べ物・飲み物を召し上がって頂けるよう努めていく。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後実施している。歯科衛生士や歯科医と協力し、ケアの方法等アドバイスや指示をもらっている。		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔内と体の健康の関連性は高く、口腔内の清潔保持の重要性を改めて理解し、日々のケアを行う必要がある。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の排泄パターンを把握し、羞恥心に配慮しながら言葉かけを行うことで入居者が不快な思いを極力しないで済むように努めている。		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄はその人のプライバシーや尊厳に関わることであるため、少しでも不快な思いをしないよう細心の注意を払ってケアを提供していく。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間、静かな時間のほうが入りやすい方には 20 時頃入浴してもらい、一人で入りたい方には邪魔にならないところでの見守りを行っている。			普段の生活の中でも入浴の時間は利用者の方が周囲の目を気にすることなくゆっくりできる大切なひと時である。この貴重な時間をより有意義なものにするための工夫に力を入れて取り組みたい。

33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の休息パターンやスタイルを尊重している。冬場など乾燥しやすい時期は各居室に加湿器を設置し、乾燥を防いで快適に休むことができるようにしている。			現在は衛生面を考慮し加湿器の代わりに濡れたタオルを各居室につるし乾燥を防ぐようにしている。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬内容をファイルし、何時でも見れるようにしている。また、どのような効果、副作用があるかを把握できるようにしている。		(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の効用だけでなく、副作用や注意すべき点などより薬についての理解を深めていく必要がある。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歌の好きな方にはCDやDVD・歌詞本を用意したり、家事が得意な方には洗濯物を干す・たたむ、箒を使って掃除をして頂いたりしている。	・出来ることを大切に取り組んでもらえていると思う。		コロナ禍においてほぼ全てのレクリエーションはグループホーム内で完結しているが、コロナ禍始まるまで利用者の方がとても喜ばれていた保育園の子供たちの交流を１日も早く再開したい。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.) あまりできていない D. ほとんどできていない	現在はコロナの影響で自粛中のため、外出外泊は行っていない。洛和会の方針が少し緩和され、現在は希望時に敷地内で外気浴を行っている。	・ワクチン接種者の増加、患者数の減少を受け、今後の支援に期待しています。 ・コロナ禍が終息したら違った「光」「景色」などを「見る」「味わう」ことができるようにしてほしい。		おでかけできるようになったら何がしたいか、どこに出かけたいかを今から利用者の方の希望を伺っておき、コロナが終息したら速やかに実現できるよう準備をしておく。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない (D.) ほとんどできていない	現在はコロナの影響で自粛中のため、買い物に行く等の外出は行っていない。本人がほしい物があれば代わりに買い物に行き購入している。			今は利用者の方の必要な物を職員が買いに行っているが、コロナが終息したら一緒に買い物に行きたい。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	オンライン面会を実施している。本人が希望されればいつでも電話することができるようにしている。			オンラインの面会ではどうしても音声が聞き取りにくかったり、表情が読み取りにくい等難しい面があるが、現状において大切な人との接点を持てる貴重な機会でありサポートに力を入れていきたい。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	掲示する写真や設えの高さを入居者が見やすいように工夫することにより自発的に見に行かれたり、写真を通じて会話が生まれるようになっている。エアコンの風が直接あたらないような工夫もし		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	壁紙のしつらえを毎月変えるなどに加え、今後は生花が常に部屋のどこかにあるようにしていきたい。

		人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている		ており、寒さや暑さを感じることなく快適な温度調整をしている。			
Ⅳ. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方の好みや思い・状態などを記載するシートを活用し、ご本人から見えている世界、感じておられる思いを受け止めることを通じて本人本位のケアの提供に努めている。			個々の職員が利用者の方について気付いていることを文書化し、共有することでより本人本位のケアを提供出来るようにしていく。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に情報収集し把握に努めている。入居後も会話やご家族等から情報収集し、ご本人が必要なケアを提供出来るよう努めている。			利用者の方に関する情報をシートにまとめるだけでなく生活の質の向上に活用できるよう努めていく。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日バイタル測定を行い状態を確認。必要に応じて主治医・PT・ST・歯科医師と連携しケアを行っている。		(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	適切なケアを提供するためにも普段の様子を把握し、小さな変化に気づき対応する力が求められている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各々のライフスタイルを尊重し、本人のペースを大切に支援している。			ご自身の意思・思いを伝えられない方の思いをいかに汲み取り、実現させることができるかが大きな課題となっている。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族にアルバムや写真を持参頂いたり、お仏壇や遺影を置く事でご家族を偲ばれる方も居られる。		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昔の写真は利用者同士お互いのことを知らなくても見ているだけで盛り上がり喜ばれる方が多いため、ご家族に写真を用意していただけないか話をしていきたい。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない (D.) ほとんどできていない	コロナ禍のため現在は実施できていない。	・ワクチン接種者の増加、患者数の減少を受け、今後の支援に期待しています。		コロナ禍が終息したら食事に関連する取り組みと同様力を入れて取り組んでいきたい。

46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の意向・思い・状態をアセスメントし、利用者個々に役割を担っていただきやりがい、自己効用感を感じて頂ける様努めている。			できることはしていただけているが、できるかもしれないことをできるに繋げるアプローチはまだまだ出来る事があると感じている。
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.)あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため外出が制限されているためご希望に添えない事もあるが、その中でも楽しく過ごして頂けるよう努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている (C.)あまりできていない D. ほとんどできていない	1 人では難しく、職員と力を合わせて楽しい時間が実現できる方が増えてきているため、その時間を作る工夫に力を入れていく必要がある。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため現在は実施できていない。それまでは近隣の商業施設・公園に出かけたりしていた。	・特になし		短時間のドライブ・近隣公園への散歩等コロナ禍の状況を見ながら、実現できるようにしたい。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため外部との交流は行えていないが、屋内でも利用者のみなさまに安心かつ楽しく過ごして頂けるよう、レクリエーションを工夫し、これまで以上多く行なうよう努めている。	・体調の優れないことも増えご負担をおかけしていますが、色々工夫して目をかけえてくださっているのがお話から伺えます。感謝しております。 ・家族として安心して預けられます。ありがとうございます。	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	GH は利用者の方にとって本当の家ではないかもしれないが、家と同じように居心地のよいところと感じて頂けるよう職員一丸となって取り組んでいく。